

令和3年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	木曽産木材・木工品発信事業
事業主体 (連絡先)	木曽広域連合 木曽郡木曽町日義 4898-37 (TEL 0264-23-1050)
事業区分	(6)産業振興、雇用拡大 (ウ 森林づくりと林業の振興)
事業タイプ	ソフト
総事業費	2,387,000 円 (うち支援金: 1,909,000 円)

事業内容

木曽地域の森林・木材の利活用につながるものづくり、体験、学習等取材し、WEB サイトから情報発信した。

保育士や学校関係者(林業大学校、養護学校)、町村役場職員(教育・林務担当)、地域おこし協力隊などが参加して木曽地域木育講座を開講した。また保育園園長会木育研修、保育園木育研修会を開催し、木育の普及啓発を図るとともに、保育士に対して木育の意味あいを伝えることで子ども達や保護者、地域住民への普及のための準備を行った。

- ・木曽地域木育講座参加者 23 名
- ・保育園園長会木育研修参加者 9 名
- ・保育園木育研修会参加者 33 名

事業効果

WEB サイトアクセス件数は 477 件(2 月末時点)であり、そのうち人材育成へのアクセスが最多で、子ども達が取り組む活動が注目されていることが分かった。8 月に下流域自治体に WEB サイトを紹介した上で、10、11 月に下流域自治体に訪問し、上流域と一緒に森林環境譲与税を活用した取り組みを提案して回ったところアクセス件数が伸びた。

木曽地域木育講座及び保育園木育研修会により、参加者の 95%が木育への理解が深まり、講座に対する満足度は 80%を超えた。また地域づくりや住民協働に活用できると考えた方は 100%だった。来年度以降も実施・参加したいと考えている方が 100%いることから、木育への期待が高まっていることが伺える。

今後の取り組み

WEB サイトへのアクセス数から注目されている事業を強化するとともに、下流域自治体への訪問を増やし、更なるニーズ把握とよりよい提案をし、連携強化に努めたい。

木育研修に参加いただいた保育士等の意見を聞くと、予想以上に木育への期待が大きいことが分かったため、まずは保育園内に木育を広めていくとともに、未就学児や保護者を対象に木育研修を行っていききたい。あわせて保育所や木工業者と協力して木曽地域にあった木育プログラムを開発し、地域内や木曽川流域自治体に広めていくように取り組みたい。



【木曽地域木育講座】

【目標・ねらい】

- ①森林資源・木材の利用拡大
- ②木曽川流域自治体との連携強化
- ③木育理解及び活用促進
- ④木育を通じた地域づくりの推進

※自己評価【 C 】

【理由】

木育研修・木育講座を未就学児及び保護者を交えて開催したかったが、新型コロナウイルス感染症拡大により実施できず、保育士への研修のみとなってしまったため。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある